

特許 ライティングマニュアル

特許ライティングマニュアル (初版)

「産業日本語」 Technical Japanese

平成25年6月 初版 第1刷発行

平成26年2月 初版 第2刷発行

一般財団法人 日本特許情報機構 特許情報研究所

東京都江東区東陽四丁目1番7号

TEL 03-3615-5513 FAX 03-3615-5521

— 禁無断転載 —

「産業日本語」

Technical Japanese

(初版)

一般財団法人日本特許情報機構

特許情報研究所

特許ライティングマニュアルについて

昨今の知財活動の急速なグローバル化を背景とし、特許文書の機械翻訳や検索等、特許情報の利用の一層の高度化が求められています。そして、その基礎となる高度な文書処理を効率良く低コストで実施するために、特許文書そのものの改善からのアプローチも重要になっています。

そのアプローチの1つとして、言語表現としてのまとまりのある技術情報・思想を表現する単位である「特許文章」の明晰化のための「言い換え規則」による改善があります。

一般財団法人日本特許情報機構（Japio）は、平成19年度から、知的財産、特許翻訳、情報工学等の専門家の皆様のご協力のもとで、「特許版・産業日本語」^(注)活動を行っております。その活動の中で、「言い換え規則」の抽出を行いました。そして、この度、抽出した「言い換え規則」を使って、一般ルール化し、「特許ライティングマニュアル（初版）」として編集しました。

この特許ライティングマニュアルは、人による特許明細書作成実務をガイドし、コンピュータによる特許ライティング支援機能を実現する基礎となるものです。本書をご活用いただくことにより、特許明細書作成実務の一助となれば幸いです。

（注）産業日本語とは

Japioが、そのコンセプトを作りあげてきた造語で、「産業・技術情報を人に理解しやすく、かつ、コンピュータ（機械）にも処理しやすく表現するための日本語」として定義しています。機械翻訳を始めとする言語処理技術を活用すること念頭に置いて、明瞭な日本語文の作成と高品質な翻訳文の低コスト作成を目標としています。特許明細書等の特許情報への応用に関する活動を特に「特許版・産業日本語」と呼んでいます。

目次

特許ライティングマニュアルについて

本書の特長…………… P 03

A 長文「分かりにくい」を避ける。
(ルール 第A条の1～4) P 04

B 不整列「雑然とした並び」を避ける。
(ルール 第B条の1～4) P 07

C 省略「落とし穴」を避ける。
(ルール 第C条の1～5) P 10

D 多義「どの意味なの？」を避ける。
(ルール 第D条の1～3) P 13

E 非論理的「信号がない」を避ける。
(ルール 第E条の1～7) P 16

F 非均質並立表現「ばらつき」を避ける。
(ルール 第F条の1～2) P 20

G 冗長「蛇行しすぎ」を避ける。
(ルール 第G条の1～4) P 23

H 難解「??」を避ける。
(ルール 第H条の1～2) P 29

本書の特長

本書の基礎となっている「言い換え規則」は、「特許版・産業日本語」活動の中で、実際の文書変換プロセスや翻訳の適用により、人がより理解しやすく、翻訳の際にも訳質が向上すると判断したものです。

具体的には、数百の特許文を用いて、「文章としての明晰性」と「翻訳の容易性」の2つの観点から、「言い換え」を行い、結果に対して、適切な翻訳文となるかどうかを翻訳者が英訳することで、その妥当性を検証しました。さらに、同じ「言い換え」結果を入力源として機械翻訳処理も実施し、機械翻訳にどの程度適合しているかの確認も行いました。このような分析を経て「言い換え規則」を抽出しています。

言い換え規則は、特許文章全般に共通する表層的な範囲（技術的内容に立ち入らない範囲）のみを対象とし、文法的・形態的に対象文を特定できるものや、定型表現に集約できるものを中心としました。

本書は、これらの言い換え規則を、整理し、一般ルール化した構成となっています。

- 31のルールをA～Hの8つに大別し、収録しています。
- ルール毎に、内容を紹介しています。
- 言い換え事例を【改善例】で、その構造比較を【構造比較】により、適用例が分かるように工夫しました。

A

長文「分かりにくい」を避ける。 ～文は短く！～

ルール 第A条の1

長文の複文を連文(複数の短文)にし、各文の因果関係が明確になるよう言い換える。
前半(原因)と後半(結果)をそれぞれ独立した文にし、因果関係を示す接続詞で結ぶ。

*複文：述語が2つ以上存在する文。述語を中心としたまとまりが節。

改善例1 …… 長文は、連文(複数の短文)に

- 「このように、基板の表面処理工程を備えているので、凹凸を取り除くことができる。」
- ➡「このように、基板の表面処理工程を備えている。そのため、凹凸を取り除くことができる。」

構造比較
・「〈節1〉ので、〈節2〉。」
➡「〈文1〉。そのため、〈文2〉。」

改善例2 …… 長文は、連文(複数の短文)に

- 「～ものであることから、課題を解決できる。」
- ➡「～ものである。そのため、課題を解決できる。」

構造比較
・「〈節1〉から、〈節2〉。」
➡「〈文1〉。そのため、〈文2〉。」

改善例3 …… 長文は、連文(複数の短文)に

- 「加熱手段を設ければ、課題を解決できる。」
- ➡「加熱手段を設ける。これにより、課題を解決できる。」

構造比較
・「〈節1〉すれば、〈節2〉。」
➡「〈文1〉。これにより、〈文2〉。」

改善例4 …… 長文は、連文(複数の短文)に

- 「その層間にアルミの第1の層、銅の第2の層、酸化ケイ素の第3の層を設けることで、より確実に水蒸気バリア性を確保する。」
- ➡「その層間にアルミの第1の層、銅の第2の層、酸化ケイ素の第3層を設ける。これにより、より確実に水蒸気バリア性を確保する。」

構造比較
・「〈節1〉ことで、〈節2〉。」
➡「〈文1〉。これにより、〈文2〉。」

ルール 第A条の2

長文で列挙される要素について、その説明を後続の文で行うように言い換える。

改善例1 …… 長文で列挙される要素は、説明を後続文で

- 「本発明は、…であって、セル表面にレジストを塗布する塗布工程を備えることを特徴とする。」
- ➡「本発明は、…であって、塗布工程を備えることを特徴とする。塗布工程では、セル表面にレジストを塗布する。」

構造比較
・「本発明は、…であって、〈列挙要素〉。」
➡「本発明は、…であって、〈節〉。〈説明文〉。」

改善例2 …… 長文で列挙される要素は、説明を後続文で

- 「耐熱ガラスからなる透明な表面側第1層、充填材からなる第2層、電氣的に接続された複数の光電変換素子が配置された第3層、樹脂フィルムからなる耐候性の裏面側第4層をこの順序で積層し…」
- ➡「表面側第1層、充填材からなる第2層、第3層、耐候性の裏面側第4層をこの順序で積層する。表面側第1層は透明で耐熱ガラスからなる。第3層は電氣的に接続されている複数の光電変換素子が配置されている。裏面側第4層は樹脂フィルムからなる。そして、…」

構造比較
・「〈連体修飾1〉物1、〈短い連体修飾2〉物2、〈連体修飾3〉物3、〈連体修飾4〉物4をこの順序で積層し」
➡「物1、〈短い連体修飾2〉物2、物3、物4をこの順序で積層する。物1は〈説明文1〉。物3は〈説明文3〉。物4は〈説明文4〉。」

ルール 第A条の3

独立した複数事象の複文を連文(複数の短文)に言い換える。

*複文：述語が2つ以上存在する文。述語を中心としたまとまりが節。

改善例 …………… 複文を連文(複数の短文)に

- 「半導体基板は、複数のセルを備え、これらの隣接するセル同士が相互に電氣的に接続され、そのことにより、半導体基板は、回路を構成する。」
- ➡ 「半導体基板は、複数のセルを備える。これらの隣接するセル同士が相互に電氣的に接続される。そのことにより、半導体基板は、回路を構成する。」

構造比較
• 「〈節1〉、〈節2〉、そのことにより、〈文〉。」
➡ 「〈文1〉。〈文2〉。そのことにより、〈文3〉。」

ルール 第A条の4

複雑な条件設定表現を分割し、連文(複数の短文)に言い換える。

改善例 …………… 条件設定表現を連文(複数の短文)に

- 「～保管された場合や、～消費されない場合等に、～変化する可能性がある。」
- ➡ 「～保管された場合に、～変化する可能性がある。～消費されない場合等にも、～変化する可能性がある。」

構造比較
• 「〈条件設定1〉や、〈条件設定2〉に、〈文〉。」
➡ 「〈条件設定1〉に〈文〉。〈条件設定2〉にも〈文〉。」

B

不整列「雑然とした並び」を避ける。 ～適切な順番に！～

ルール 第B条の1

主題成分を先頭に配置し明示する構文に言い換える。

改善例1 …………… 〈主題成分〉を先頭へ

- 「効果的に残すような構造を支持部は採用していない。」
- ➡ 「支持部は、効果的に残すような構造を採用していない。」

構造比較
• 「〈目的節〉〈主題成分〉は～していない。」
➡ 「〈主題成分〉は、〈目的節〉～していない。」

改善例2 …………… 〈主題成分〉を先頭へ

- 「分量に応じて容器は収縮し」
- ➡ 「容器は分量に応じて収縮し」

構造比較
• 「〈条件節〉〈主題成分〉は～し」
➡ 「〈主題成分〉は〈条件節〉～し」

ルール 第B条の2

修飾要素を被修飾要素の近くに置く表現に言い換える。

改善例1 …… 〈修飾要素〉を〈被修飾要素〉の近くに

- 「部品と搬送時に接触する」
- ➡ 「搬送時に**部品と接触する**」

構造比較
• 「〈修飾要素〉・・・〈被修飾要素〉」
➡ 「・・・〈修飾要素〉〈被修飾要素〉」

改善例2 …… 〈修飾要素〉を〈被修飾要素〉の近くに

- 「安定した高品質の画像の形成」
- ➡ 「高品質の画像の**安定した形成**」

構造比較
• 「〈修飾要素〉・・・〈被修飾要素〉」
➡ 「・・・〈修飾要素〉〈被修飾要素〉」

ルール 第B条の3

例示成分の配置を調整し、目的語と述語とが近くなるように言い換える。

改善例 …… 例示成分の配置を調整し、目的語と述語とを近くに

- 「印刷機の課題、例えば、インクジェット印刷機においてはヘッドノズルの目詰まりや、孔版印刷機においてはスクリーンの目詰まりなどを**解決する。**」
- ➡ 「**例えば、**インクジェット印刷機においてはヘッドノズルの目詰まりや、孔版印刷機においてはスクリーンの目詰まり**など、印刷機の課題を解決する。**」

構造比較
• 「〈目的語〉、〈例示1〉、〈例示2〉など、〈述語〉。」
➡ 「〈例示1〉、〈例示2〉など、〈目的語〉〈述語〉。」

ルール 第B条の4

主格(主語)成分を簡潔にするため、連体修飾節を連用節に言い換える。

改善例1 …… 連体修飾節を連用節に

- 「製造時に混入した異物が」
- ➡ 「異物が、**製造時に混入し、**」

構造比較
• 「〈連体修飾節〉物が」
➡ 「物が、〈連用節〉、」

改善例2 …… 連体修飾節を連用節に

- 「底部に溜まった沈殿物が」
- ➡ 「沈殿物が、底部に**溜まり、**」

構造比較
• 「〈連体修飾節〉物が」
➡ 「物が、〈連用節〉、」



省略「落とし穴」を避ける。 ～省略せず明示！～

ルール 第C条の1

省略された主語を明示する表現に言い換える。

改善例 …… 省略された主語を明示

- 「よって、沈殿物を保持する。」
- ➡ 「よって、**容器は**沈殿物を保持する。」

- 構造比較
- 「よって、〈述語〉。」
 - ➡ 「よって、〈**主語**〉〈述語〉。」

ルール 第C条の2

省略された目的語を明示するように言い換える。

改善例 …… 省略された目的語を明示

- 「洗淨する」
- ➡ 「**ウエハを**洗淨する」

- 構造比較
- 「〈他動詞〉する」
 - ➡ 「〈**目的語**〉を〈他動詞〉する」
- *他動詞：能動態で直接目的語をとる動詞。

ルール 第C条の3

省略しすぎた表現を適正表現に言い換える。

改善例 1 …… 省略表現を適正表現に

- 「はんだ再溶融」
- ➡ 「はんだ**の**再溶融」

改善例 2 …… 省略表現を適正表現に

- 「孔内部」
- ➡ 「孔**の**内部」

改善例 3 …… 省略表現を適正表現に

- 「詳細構成」
- ➡ 「詳細**な**構成」

改善例 4 …… 省略表現を適正表現に

- 「放熱、或いは、冷却装置を設けることなく」
- ➡ 「放熱**装置**、或いは、冷却装置を設けることなく」

改善例 5 …… (「電力」が省略) 省略表現を適正表現に

- 「消費量」
- ➡ 「**電力の**消費量」

改善例 6 …… (「メモリ」が省略) 省略表現を適正表現に

- 「セル」
- ➡ 「**メモリ**セル」

ルール 第C条の4

一般的過ぎる用語を具体的な用語に言い換える。

改善例1 …… 「もの」を具体的な用語に

- 「もの」
- ➡ 「**半導体装置**」

改善例2 …… 「もの」を具体的な用語に

- 「反転する構造**のもの**」
- ➡ 「反転する構造**の容器**」

ルール 第C条の5

指示語をそれが具体的に指すものに言い換える。

改善例 …… 指示語を具体的に

- 「これは、」
- ➡ 「**この改善は、**」

D 多義「どの意味なの？」を避ける。 ～一意にとれる表現に！～

ルール 第D条の1

格助詞「の」の多義性を解消するために、その意味を明示する表現に言い換える。

*格助詞：体言または体言に準ずるものに付き、それが他の語とどんな関係かを示す助詞。

改善例1 …… 「の」の意味を明示する表現に

- 「アルミ**の**第1層」
- ➡ 「アルミ**からなる**第1層」

構造比較
• 「の」
➡ 「**からなる**」

改善例2 …… 「の」の意味を明示する表現に

- 「本発明**の**加熱工程」
- ➡ 「本発明**における**加熱工程」

構造比較
• 「の」
➡ 「**における**」

改善例3 …… 「の」の意味を明示する表現に

- 「〈文献番号〉**の**支持部」
- ➡ 「〈文献番号〉**に記載された**支持部」

構造比較
• 「の」
➡ 「**に記載された**」

改善例4 …… 「の」の意味を明示する表現に

- 「〈文献番号〉に**記載の**容器」
- ➡ 「〈文献番号〉に**記載された**容器」

構造比較
• 「記載の」
➡ 「記載された」

ルール 第D条の2

格助詞「で」の多義性を解消するために、その意味を明示する表現に言い換える。

＊格助詞：体言または体言に準ずるものに付き、それが他の語とどんな関係かを示す助詞。

改善例1 …… 「で」の意味を明示する表現に

- 「押圧具**で**」
- ➡ 「押圧具**によって**」

構造比較
• 「〈道具〉 **で**」
➡ 「〈道具〉 **によって**」

改善例2 …… 「で」の意味を明示する表現に

- 「加熱工程**で**」
- ➡ 「加熱工程**において**」

構造比較
• 「**で**」
➡ 「**において**」

改善例3 …… 「で」の意味を明示する表現に

- 「高温領域**で**」
- ➡ 「高温領域**において**」

構造比較
• 「〈属性〉 **で**」
➡ 「〈属性〉 **において**」

＊属性：そのものに備わっている固有の性質・特徴。

ルール 第D条の3

格助詞「の」「で」の多義性を解消するために、その意味を明示する表現に言い換える。

＊格助詞：体言に付き、文の中での意味関係(格)を表すもの。

改善例 …… 「の」「で」の意味を明示する表現に

- 「高温の加熱**で**」
- ➡ 「高温**において**加熱することにより」

E

非論理的「信号がない」を避ける。 ～読点による成分の明示！～

ルール 第E条の1

主題成分を明示するために、読点で区切る表現に言い換える。

改善例1 …………… 読点で区切る

- ・「液晶表示装置で使用されるガラス基板は」
- ➡「液晶表示装置で使用されるガラス基板**は、**」

改善例2 …………… 読点で区切る

- ・「自動車の場合は・・・」
- ➡「自動車の場合は**は、**・・・」

改善例3 …………… 読点で区切る

- ・「本発明は・・・」
- ➡「本発明**は、**・・・」

ルール 第E条の2

条件節(連用節)を明示するために、読点で区切る表現に言い換える。

改善例 …………… 読点で区切る

- ・「～残っていると・・・」
- ➡「～残**っていると、**・・・」

- 構造比較
- ・「〈条件節〉・・・」
 - ➡「〈条件節**は、**・・・」

ルール 第E条の3

長い修飾成分を明示するために、読点で区切る表現に言い換える。

改善例 …………… 読点で区切る

- ・「溶液と容器の素材との組み合わせによっては・・・」
- ➡「溶液と容器の素材との組み合わせ**によっては、**・・・」

- 構造比較
- ・「〈修飾成分〉・・・」
 - ➡「〈修飾成分**は、**・・・」

ルール 第E条の4

修飾成分が隣接する名詞と異なる名詞を修飾する場合は、読点で区切る表現に言い換える。

改善例1 …………… 読点で区切る

- ・「補強材を加熱処理する工程を備える車軸の製造方法」
- ➡「補強材を加熱処理する工程を**備える、**車軸の製造方法」

- 構造比較
- ・「〈修飾成分〉・・・物」
 - ➡「〈修飾成分**は、**・・・物」

改善例2 …………… 読点で区切る

- ・「分割された複数の領域表面のタブを圧着する部分」
- ➡「分割された複数の領域表面**の、**タブを圧着する部分」

- 構造比較
- ・「〈修飾成分〉の・・・物」
 - ➡「〈修飾成分**の、**・・・物」

ルール 第E条の5

文修飾の副詞を明示するために、読点で区切る表現に言い換える。

改善例 …………… 読点で区切る

- 「好ましくは・・・」
- ➡ 「好ましくは、・・・」

構造比較
• 「〈文修飾の副詞〉・・・」
➡ 「〈文修飾の副詞〉、・・・」

ルール 第E条の6

複文表現において各要素の因果関係が明確になるよう言い換える。

*複文：述語が2つ以上存在する文。述語を中心としたまとまりが節。

改善例1 …………… 各要素の因果関係を明確に

- 「保持手段は、…防止することで、…保持するもの。」
- ➡ 「保持手段は、…防止し、そのことにより、…保持するもの。」

構造比較
• 「～することで、〈節〉。」
➡ 「～し、そのことにより、〈節〉。」

改善例2 …………… 各要素の因果関係を明確に

- 「基板を回転して基板表面に塗布した塗布液を乾燥させている。」
- ➡ 「基板を回転し、そのことにより、基板表面に塗布した塗布液を乾燥させている。」

構造比較
• 「物を～して 〈節〉。」
➡ 「物を～し、そのことにより、〈節〉。」

ルール 第E条の7

一般的過ぎる動詞の使用を避ける表現に言い換える。

改善例1 …………… 「行う」を避ける

- 「基板の加熱を行う」
- ➡ 「基板を加熱する」

改善例2 …………… 「する」を避ける

- 「L字形状にする」
- ➡ 「L字形状に形成する」

改善例3 …………… 「なる」を避ける

- 「構造になる」
- ➡ 「構造をもつ」

F

非均質並立表現「ばらつき」を避ける。 ～表現揃え！～

～語レベルの表現揃え！～

ルール 第F条の1

並立表現の並立要素が同じ表現になるように整える。

① 【OR並立】

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- 「水やスチーム、**或いは**、薬品など」
- ➡ 「水**か**スチーム**か**薬品**など**」

構造比較
• 「物1や物2、**或いは**、物3など」
➡ 「物1**か**物2**か**物3**など**」

② 【OR/AND並立】

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- 「裏面側の保護膜、**或いは**、透光膜**と**、表面側の透光膜**間**」
- ➡ 「裏面側の保護膜**か**透光膜**か**と表面側の透光膜**との間**」

構造比較
• 「物1、**或いは**、物2**と**、物3**間**」
➡ 「物1**か**物2**か**と物3**との間**」；(物1 OR 物2) AND 物3) の間

③ 【AND/OR並立】

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- 「ガラス**間****或いは**ガラス**と**保護膜**間**」
- ➡ 「ガラス**と**ガラス**との間****か**ガラス**と**保護膜**との間**」

構造比較
• 「物1**間****或いは**物2**と**物3**間**」
➡ 「物1**と**物1**との間****か**物2**と**物3**との間**」；(物1 AND 物1) OR (物2 AND 物3)

④ 【と-との並立】

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- 「装置本体、ガス供給口部の**いずれか**一方**あるいは**その両方」
- ➡ 「装置本体**と**ガス供給口部**との**いずれか一方**あるいは**その両方」

構造比較
• 「物1、物2の**いずれか**」
➡ 「物1**と**物2**との**いずれか」

⑤ 【と-とを並立】

改善例 1 …………… 並立要素が同じ表現に

- 「透光性**及び**耐熱性を**有する**ガラス基板」
- ➡ 「透光性**と**耐熱性**とを**有するガラス基板」

構造比較
• 「物1**及び**物2**を**」
➡ 「物1**と**物2**とを**」

改善例 2 …………… 並立要素が同じ表現に

- 「画像部の**形成と**、駆動部の**安定動作を得る**」
- ➡ 「画像部の**形成と**駆動部の**安定動作とを得る**」

構造比較
• 「**～と、～を**」
➡ 「**～と～とを**」

⑥ 【と-とが並立】

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- 「第1領域**と**拡散領域**としての**第2領域**が**」
- ➡ 「第1領域**と**拡散領域**としての**第2領域**とが**」

構造比較
• 「物1**と**物2**が**」
➡ 「物1**と**物2**とが**」

⑦【〈接尾辞〉か-〈接尾辞〉か並立】

＊接尾辞：語や語の一部の後ろに付加されて派生語を作り、元の語の品詞を変えたり、意味を付加したりする。～さ（深さ）、～的、～性、～状、～力（読解力）など。

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- ・「L字**或いは**棒状の電極」
- ➡「L字**状か**棒**状か**の電極」

構造比較
・「**或いは**〈接尾辞〉」
➡「〈接尾辞〉**か**〈接尾辞〉**か**」

～文レベルの表現揃え！～

ルール 第F条の2

並立表現の並立要素が同じ表現になるように整える。

①【態揃え並立】

＊態：能動態・受動態など。

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- ・「～インクを保管**する**場合や、～インクが消費**される**場合」
- ➡「～インクが保管**される**場合や、～インクが消費**される**場合」

構造比較
・「～**する**場合や、～**される**場合」
➡「～**される**場合や、～**される**場合」

②【〈属性〉は並立】

＊属性：そのものに備わっている固有の性質・特徴。

改善例 …………… 並立要素が同じ表現に

- ・「本体**は**、・・・収縮し、その容積**が**減少**する**。」
- ➡「本体**は**、・・・収縮し、その容積**は**減少**する**。」

構造比較
・「～**は**、・・・、その〈属性〉**が**～**する**。」
➡「～**は**、・・・、その〈属性〉**は**～**する**。」



冗長「蛇行しすぎ」を避ける。 ～簡潔な表現で！～

ルール 第G条の1

冗長な表現を簡潔な表現に言い換える。

改善例1 …………… 簡潔表現に

- ・「低下**してしまう**。」
- ➡「低下**する**。」
- ＊「てしまう（その作用が完了し、もとへ戻らない意を表す助動詞）」は過剰。

構造比較
・「**してしまう**。」
➡「**する**。」

改善例2 …………… 簡潔表現に

- ・「取り除け**なくなってしまう**。」
- ➡「取り除け**なくなる**。」
- ＊「てしまう（その作用が完了し、もとへ戻らない意を表す助動詞）」は過剰。

構造比較
・「**なくなってしまう**。」
➡「**なる**。」

改善例3 …………… 簡潔表現に

- ・「供給**されてしまい**、」
- ➡「供給**され**、」

構造比較
・「**されてしまい**、」
➡「**され**、」

改善例4 …… 簡潔表現に

- 「残ることは困難である。」
- ➡ 「残**れない**。」

構造比較 • 「することは困難である。」
➡ 「**できない**。」

改善例5 …… 簡潔表現に

- 「だけのものである。」
- ➡ 「**だけである**。」

構造比較 • 「ものである。」
➡ 「**である**。」

改善例6 …… 簡潔表現に

- 「残しておくことができるようにする。」
- ➡ 「残して**おけるようにする**。」

構造比較 • 「おくことができるようにする。」
➡ 「**おけるようにする**。」

改善例7 …… 簡潔表現に

- 「この外箱**もまた**」
- ➡ 「この外箱**も**」

構造比較 • 「もまた」
➡ 「**も**」

改善例8 …… 簡潔表現に

- 「**顕著なものとなる**」
- ➡ 「**顕著になる**」

構造比較 • 「ものとなる」
➡ 「**なる**」

改善例9 …… 簡潔表現に

- 「**確実な**半田付けを実現できる」
- ➡ 「**確実に**半田付け**できる**」

構造比較 • 「実現できる」
➡ 「**できる**」

改善例10 …… 簡潔表現に

- 「容器に収縮変形が生じて**も**」
- ➡ 「容器が**収縮し変形しても**」

構造比較 • 「〈状態〉が生じて**も**」
➡ 「〈状態〉**しても**」

改善例11 …… 簡潔表現に

- 「製造コストの**低減を**図りながら」
- ➡ 「製造コストを**低減しながら**」

構造比較 • 「図りながら」
➡ 「**しながら**」

改善例12 …… 簡潔表現に

- 「改善を**図ることができるようになる**」
- ➡ 「改善が**できる**」

構造比較 • 「図ることができるようになる」
➡ 「**できる**」

改善例13 …… 簡潔表現に

- 「温度を下げることができる**ようになる**」
- ➡ 「温度を下げることが**できる**」

構造比較 • 「できる**ようになる**」
➡ 「**できる**」

改善例14 …… 簡潔表現に

- 「引き込まれていく」
- ➡ 「引き込まれる」

改善例15 …… 簡潔表現に

- 「しなくても差し支えない」
- ➡ 「しなくてもよい」

改善例16 …… 簡潔表現に

- 「可能性が考えられる」
- ➡ 「可能性が**ある**」

ルール 第G条の2

語調を整える表現を削除し、冗長表現を適正な表現に言い換える。

改善例 …… 語調を整える表現を削除

- 「電力が消費されないといった場合」
- ➡ 「電力が消費されない場合」

構造比較
➡ 「**と**いった」
➡ 「**と**」 (削除)

ルール 第G条の3

過剰な補助動詞を削除するよう言い換える。

改善例 …… 過剰な補助動詞を削除

- 「低下を招いてしまうという問題もある」
 - ➡ 「低下を**招く**という問題もある」
- * 「てしまう」(その作用が完了し、もとへ戻らない意を表す助動詞)は過剰。

構造比較
➡ 「**て**しまう」
➡ 「**て**」 (削除)

ルール 第G条の4

重複する表現要素を整理し適正な表現に言い換える。

改善例1 …… 重複要素を整理

- 「容器内の沈殿物を**同容器内**に残しておく容器」
- ➡ 「容器内の沈殿物を残しておく容器」
- * 「容器内」が2回重なるのを避けた。

改善例2 …… 重複要素を整理

- 「孔の一端側で**該孔の断面積**が大きく、孔の他端側で**該孔の断面積**が小さい」
- ➡ 「**孔の断面積**が、一端側において大きく、**かつ**、他端側において小さい」
- * 「孔の断面積」が2回重なるのを避けた。

改善例3 …… 重複要素を整理

- 「**搬送ベルト**がA工程では該凸部と接触せず、**搬送ベルト**がB工程で該凸と接触する」
- ➡ 「**搬送ベルト**がA工程では該凸部と接触せず、B工程では接触する」
- * 「搬送ベルト」が2回重なるのを避けた。

改善例4 …… 重複要素を整理

- 「**部材A**は、部材Bに相似の**形状**であって、部材Bより大きい**L字型形状**に形成されている。」
- ➡ 「**部材Aの形状**は、部材Bと相似であり、**かつ**大きい**L字型**である。」
- * 「形状」が2回重なるのを避けた。



難解「??」を避ける。 ～平易な表現で！～

ルール 第H条の1

難解表現を平易表現に言い換える。

改善例1 …… 平易表現に

- 「封止する」
- ➡ 「シールする」

改善例2 …… 平易表現に

- 「挟持する」
- ➡ 「挟んで支える」

改善例3 …… 平易表現に

- 「配設する」
- ➡ 「配置し設置する」

改善例4 …… 平易表現に

- 「経時的」
- ➡ 「時間と共に」

改善例5 …… 平易表現に

- 「〈性質〉を有する」
- ➡ 「〈性質〉がある」

改善例6 …… 平易表現に

- 「柔軟性がある」
- ➡ 「柔軟な」

改善例7 …… 平易表現に

- 「連通し」
- ➡ 「通じ」

改善例8 …… 平易表現に

- 「載置する」
- ➡ 「載せる」

改善例9 …… 平易表現に

- 「耐熱性を有し」
- ➡ 「耐熱性をもち」

改善例10 …… 平易表現に

- 「押圧し」
- ➡ 「押付け」

ルール 第H条の2

通常表現に言い換える。

改善例1 …… 通常表現に

- 「大きさを有している」
- ➡ 「大きさをもつ」

構造比較 • 「有している」
➡ 「もつ」

改善例2 …… 通常表現に

- 「結晶化しうる」
- ➡ 「結晶化できる」

構造比較 • 「しうる」
➡ 「できる」

改善例3 …… 通常表現に

- 「しかしながら、」
- ➡ 「しかし、」

改善例4 …… 通常表現に

- 「本発明は、上記課題を解決するためになされたものである。」
- ➡ 「本発明は、上記課題を解決するためになされた。」

構造比較 • 「なされたものである。」
➡ 「なされた。」

改善例5 …… 通常表現に

- 「その目的とするところは、～装置を提供することにある。」
- ➡ 「その目的は、～装置を提供することである。」

構造比較

- 「その目的とするところは、」
- ➡ 「その目的は、」

改善例6 …… 通常表現に

- 「設けられるものとしてよい」
- ➡ 「設けられてもよい」

構造比較

- 「するものとしてよい」
- ➡ 「してもよい」

改善例7 …… 通常表現に

- 「設けることができる」
- ➡ 「設けてもよい」

改善例8 …… 通常表現に

- 「好適な」
- ➡ 「適した」